

06 小田野 直光さん

移住先：仙北市
 2016年4月 東京都三鷹市から移住
 ◆年齢 / 50代
 ◆現在の家族構成 / 夫婦



◆移住前のご職業 / 団体職員
 ◆移住後のお仕事 / 地方公務員（仙北市）

移住したキッカケは何ですか？

「田沢湖に心を奪われました」

私の実家は、角館ですので、定年になったら実家のある角館に戻ろうと漠然と考えていました。その後、門脇仙北市長から田沢湖の湖底調査のお話をいただき、平成27年9月下旬から10月上旬まで、前の職場の事業として、2週間、田沢湖の湖底調査をすることになりました。

田沢湖の湖底調査では、述べ6日間、朝7時〜夕方16時頃まで、ずっとボートに乗船し、水質、地形調査の他、水中ビデオカメラを投入した湖底観測等のメニューをこなしておりました。実は、その6日間は、奇跡的に晴天で、最終日の2時間だけ、強風で苦勞しました。

したが、田沢湖の中心から、秋田駒ヶ岳を含む山々を湖周すれすれの目線から見ると、得難いものでした。田沢湖の湖面の色は、日光の差し加減で、刻一刻と変化し、また、湖畔からは決して見るのできない、様々な田沢湖の姿を見ることができました。この調査の半年前、私が角館に将来戻ることについて父が亡くなりました。この調査の期間中、様々な思いが去来しましたが、調査のまとめを報告するために仙北市を訪ねた11月には、一切の迷いもなく、仙北市で仕事をさせていただきたい思いを関係者に伝えることができました。なぜ、このような行動に出たかは、今でも、自分でもよくわかりません。田沢湖の美しさに心を奪われたということかなと思っています。しかし、後悔はありません。



移住前と後での暮らしの変化で大きかった事は？

「夫婦で心身ともに充実した生活」

移住前と後での大きな変化は、家族への向き合い方だと思っています。東京で暮らしていたときは、慢性的な仕事中毒でしたので、恥ずかしながら、家庭のことを気にしたことはありませんでした。

移住後は、当たり前ですが、一緒に秋田に来てくれた妻とともに、買い物や県内めぐりを楽しんでいます。今でも、仕事中毒は解消されていますが、家族のために時間を割くという気持ちが湧いたのは、20年以上なかったのではないのでしょうか？

秋田は、自然が豊かですので、自然と親しむ機会も増えました。登山は、7〜8年やっています。秋田駒ヶ岳がすぐそばですので、何回か登りました。また、スキーは25年振り位でチャレンジしました。また、きれいな景色（山、湖、紅葉、雪原など）を見ながらのジョギングも、秋田に移住しなければ得られなかったものです。私自身も、仕事以外に、楽しめることができたことは、東京での生活の中では、考えられなかったことです。

妻も、秋田での生活を楽しくしており、地元のみならず、合唱、手芸、郷土史の勉強など、私以上に忙しい日もあるくらい、仙北市を楽しんでいます。東京では、買い物以外、家からでなかった日も多かったのですが、移住後は、充実した日々を過ごしています。

現在の仕事やこれからの目標など

「仙北市のお役に立てれば幸いです」

仕事では、現在、地方創生を担当させていただいています。地方自治行政の業務に携わることには初めてでしたが、同僚に恵まれ、これまでの仕事の経験も活かしながら、なんとか仕事をさせていただいています。仙北市の発展に貢献できるように精進したいと思います。

個人的な目標としては、仙北市の市指定文化財の「武家屋敷小田野家」の活用について、しっかりと向き合っていきたいと考えています。

祖父が角館を離れて約40年になりますが、その間、旧角館町、仙北市教育委員会の皆様に、維持管理を任せきりでしたが、私自身もしっかりと関与し、文化財を活用したまちづくりに貢献したいと考えています。そのため、昨年からは、戸澤嗣郎先生が代表となっている角館の古文書勉強会に入会しました。月二回のペースなので、まだまだ自力での読解は不可能ですが、定年までには、なんとか読めるようになりたいと考えています。

また、昨年11月からは、角館大弓会に入会させていた

だき、弓道もはじめました。仕事はもちろんです。しっかりと自分の心に向き合う時間も必要だと考えています。

現在は、セカンドキャリアとして、地方自治に全身全霊を傾けていますが、定年後のサードキャリアでも、しっかりと地元で貢献できるよう、様々な面での基礎体力を備えていきたいと思います。



ご本人に聞きました

①移住後の暮らしの満足度は？

- ・仕事面……………やや満足
- ・人づきあい面……………やや満足
- ・住まい面……………少し不満
- ・生活面……………普通
- ・経済面……………普通
- ・総合的に……………やや満足

②生活費の全支出100%として、各支出の占める割合は？

- ・食費や日用雑貨……………10%
 - ・水道光熱費……………4%
 - ・保険料や租税……………15%
 - ・車など移動交通費……………4%
 - ・趣味や活動交際費……………6%
 - ・家賃等の賃料……………15%
 - ・その他……………46%
- (お子様への仕送り)

